

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成 24 年 6 月 27 日

愛知県知事 殿

提出者

住 所 愛知県小牧市小木東3-45

氏 名 カゴメ株式会社 小牧工場

工場長 木瀬 互

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0568-77-3235

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	カゴメ株式会社 小牧工場
事業場の所在地	愛知県小牧市小木東3-45
計画期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	09：食料品製造業 及び 10：飲料・たばこ・飼料製造業
②事業の規模	工場社内売上高：8,372百万円(平成23年度)
③従業員数	171人(平成24年4月1日現在)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・排水処理汚泥 → 工場内排水処理施設で脱水後、再生処理業者に委託し堆肥として再資源化・廃酸(廃棄製品) → 再生処理業者に委託し飼料として再資源化・廃プラスチック類 → 再生処理業者に委託し燃料・原料として再資源化・廃油(作動油など) → 再生処理業者に委託し燃料として再資源化・廃蛍光管、ガラスくず → 再生処理業者に委託し原料として再資源化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 本社 品質環境部 環境推進グループ 生産調達本部 小牧工場 工場長 (産業廃棄物処理責任者) 製造二課 (廃棄物処理管理担当課長、統括責任者) └ 生産技術係 └ (ISO14001(EMS)事務局) └ (特別管理産業廃棄物管理責任者)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度(平成23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	_____
	排出量	別紙のとおり t	_____ t
	(これまでに実施した取組) ・工場より発生する不要物は、分別を徹底し有償物化や減量化を図ることにより、産業廃棄物の排出量の削減に努めている。 ・廃棄製品液(廃酸)は、可能な限り排水処理施設にて処理している。 ・排水処理汚泥は、排水処理場の余剰汚泥削減システムを導入し、排出量削減の成果を挙げている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	_____
	排出量	別紙のとおり t	_____ t
	(今後実施する予定の取組) ・上記の取組を継続して実施する予定。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃容器や包装材などの廃プラスチック類は、可能な限り素材別に分別保管することで、発生量の7割以上を有償物化できている。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・上記の施策を継続して実施する予定。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(排水処理汚泥)	_____
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	6,142.4 t	_____ t
(これまでに実施した取組) ・排水処理汚泥は、最適な凝集剤の選定や脱水設備の適切な運転管理によって、脱水後の汚泥の含水率を80～85%まで減量化している。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(排水処理汚泥)	_____
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	5,350.0 t	_____ t
(今後実施する予定の取組) ・引き続き、現状の減量化率（脱水率）を維持するよう努める。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	_____
	全処理委託量	別紙のとおり t	_____ t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙のとおり t	_____ t
	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり t	_____ t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙のとおり t	_____ t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙のとおり t	_____ t
	(これまでに実施した取組) ・処理を委託しようとするに際し、書面による契約を実施するとともに、委託先の現地確認を行っている。また、再生利用が可能な廃棄物については、再生利用業者から選定している。 ・処理の委託に関しては、法令を遵守し、マニフェストを適正に管理している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—————
	全処理委託量	別紙のとおり t	————— t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙のとおり t	————— t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙のとおり t	————— t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙のとおり t	————— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙のとおり t	————— t
	(今後実施する予定の取組) ・委託先処理業者には、定期的に現地確認を実施する。 ・電子マニフェストの導入を進めるため、電子マニフェストに対応可能な業者を優先して選定する。 ・可能な限り、優良認定処理業者と認定熱回収業者から選定する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第2面の続き)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項							
①現状	【前年度(平成23年度)実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥 (排水処理汚泥)	廃プラスチック類	廃酸 (廃棄製品)	廃油 (作動油など)	ガラスくず、 コンクリートくず 及び陶磁器くず	ガラスくず及び陶磁器くず と金属くずの混合物 (廃蛍光管)
	排出量	6505.0 t	39.5 t	13.1 t	0.8 t	3.0 t	0.2 t
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥 (排水処理汚泥)	廃プラスチック類	廃酸 (廃棄製品)	廃油 (作動油など)	ガラスくず、 コンクリートくず 及び陶磁器くず	ガラスくず及び陶磁器くず と金属くずの混合物 (廃蛍光管)
	排出量	5350.0 t	39.5 t	3.5 t	0.0 t	0.3 t	0.2 t

(第4面の続き)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状	【前年度(平成23年度)実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥 (排水処理汚泥)	廃プラスチック類	廃酸 (廃棄製品)	廃油 (作動油など)	ガラスくず、 コンクリートくず 及び陶磁器くず	ガラスくず及び陶磁器くず と金属くずの混合物 (廃蛍光管)
	全処理委託量	362.6 t	39.5 t	13.1 t	0.8 t	3.0 t	0.2 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	再生利用者への 処理委託量	362.6 t	0.0 t	13.1 t	0.0 t	3.0 t	0.2 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.0 t	39.5 t	0.0 t	0.8 t	0.0 t	0.0 t

(第5面の続き)

②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥 (排水処理汚泥)	廃プラスチック類	廃酸 (廃棄製品)	廃油 (作動油など)	ガラスくず、 コンクリートくず 及び陶磁器くず	ガラスくず及び陶磁器くず と金属くずの混合物 (廃蛍光管)
	全処理委託量	300.0 t	39.5 t	3.5 t	0.0 t	0.3 t	0.2 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	再生利用者への 処理委託量	300.0 t	0.0 t	3.5 t	0.0 t	0.3 t	0.2 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.0 t	39.5 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t